

大船渡市水産加工原魚転換支援事業の実績について

1 事業の目的及び概要

(1) 目的

基幹産業である水産加工業の経営の安定化を支援するため、令和3年度から、水揚量が減少して入手困難となっている魚種等から水揚量が豊富な魚種等に加工原魚を転換すること又は新たに加工原魚として魚種等を追加する場合に要する経費の一部を助成しています。

(2) 概要

ア 対象者

市内に本社又は工場を有する水産加工業者

イ 対象経費

- ・原材料費、外注加工費、検査分析費、専門家謝金、機械装置の購入又はリース費、旅費その他加工品の試作開発に要する経費（HACCP等の認定に要する経費を除く）
- ・調査研究費、委託費、旅費その他市場調査又は市場評価の実施に要する経費
- ・講師謝金、印刷費、使用料その他魚種転換に係るセミナー等の開催に要する経費
- ・その他事業に必要と認められる経費

ウ 補助率

補助対象経費の4分の3に相当する額以内の額（上限100万円）

2 事業実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
交付実績（件）	3	（1）	1	1	6
事業費（千円）	4,781	（2,776）	640	1,507	9,704
補助金交付額（千円）	1,472	（500）	480	1,000	3,452
転換後の使用魚種等	・サバ ・イワシ ・イナダ ・ヒラメ内臓 ・タラ内臓	・エビ	・毛ガニ	・銀ザケ	

※括弧内は令和3年度から繰越して実施。令和6年度は12月末時点。

3 今後の方針

当市における水産加工業は、冷凍加工が生産額の多くを占めており、サンマやサケを始めとした主要魚種の水揚量減少が経営に大きな影響を与えています。

一方、近年はマイワシの水揚量が急増しているほか、これまであまり見られなかったマダイやスズキなどが増加傾向となっているところです。

このことから、市内水産加工業の経営安定化を図るため、水揚量が増加している魚種や未利用・低利用資源を活用した付加価値の高い加工品の開発などを引き続き支援していきます。